



地域医療を考える会

Miyazaki Kobayashi since2010

ことごとごと

2015 (平成27) 年8月4日

第010号 (不定期発行)

発行：地域医療を考える会

住所：〒886-0007 真方89-1

Tel：0984-22-3008

Fax：0984-23-0325

ホームページ <http://k-iryuu.gr.jp/>

3万30筆の署名集まる

西諸医療圏の堅持と支援を要望

地域医療を考える会を発起人代表とさせて頂きいただき取り組んだ「命と暮らしを守る西諸医療圏」安心できる医療体制の確保についての要望署名運動」について、最終的に3万30筆の署名をいただきました。賛同・協力いただいた数多くの団体・個人の皆様に深く感謝いたします。



小林赤十字奉仕団総会で署名活動のお願い

2月11日に開かれた「こばやし健康フェスティバル2015」を皮切りにスタートした署名活動ですが、その後4月から5月にかけて、様々な団体の総会等にも多数お声をいただき、署名活動の内容説明とお願いをさせて頂きました。貴重なお時間をいただいたことに、心から感謝申し上げます。

今回の署名活動のポイントの一つに、西諸の地域医療の現状について少しでも多くの方に関心を持ってもらい、私たちにできることを一緒に考えてもらいたいという願いがありました。筆を手にしていただいた3万30人の皆さん。そして、今回、私たちの力不足から署名活動を伝えられなかった皆さんも一緒に、これからの西諸の医療を支えていただけたらと思います。

いっしょに学ぼう！地域医療

知って安心！子どもの救急

昨年11月9日、地域医療を考える会として初の体験型企画「いっしょに学ぼう！地域医療 知って安心！子どもの救急」を開催しました。

西諸広域消防本部救急救命士の皆さんによる「救命法・AED講習」。栄養士さんや食生活改善推進員（ヘルスメイト）さんによる「ヘルシー昼食会」。西諸医師会小児科医師の沖美和先生に登壇いただいた「こども救急講座」など、参加者の皆さんに体・お腹・頭を使う多彩なプログラムを体験いただきました。



沖美和先生による講演の様

署名は、8月18日に河野俊嗣宮崎県知事に届けます。皆さんからいただいた大切な思いをしっかりと伝えて参ります（山下）。



更生保護女性会総会で署名活動のお願い

子・大道芸」や、わたぐも絵本の会の皆さんによる「くませんせいのSOS・読み聞かせ」。小林市立病院の皆さんによる「あそびりテーション」や、消防緊急車両展示コーナーなども人気でした。後日、宮崎日日新聞に当日の様様をご紹介します。皆さま、ありがとうございました。記事、えびの市のお母さんの「地域医療」に関心を持つきっかけになる」というコメントに感激しました。



●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●

7月11日（土）～12日（日）第五回みさと地域医療塾に、小林市から山田地域医療対策監と私が参加しました。▼小林市でも以前お話いただいた美郷町地域包括医療局総院長の金丸吉昌先生から「存在は関係性なり。」という言葉で、互いの存在を共有し、関係性を深め、つながっていくことが重要という話がありました。若手医師7名からは、各施設毎の現状や地域のまつり、特産品等までプレゼンいただきました。▼特別講演では、宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座の吉村学教授から、高齢化率が都会より進む中、地域で経験され、実践されてきた活動を分かりやすくお話いただきました。地域の課題を一緒に考えることの重要性。課題について自ら旗を振り、連携し、チームを組んでこられたお話は本当に今後の我々の活動に参考になることばかりでした。▼交流会では医学生や他団体の方々とも交流ができ、有意義な時間を過ごせました。地域医療の種まき活動、地道に頑張ろうと再考した会でした。

コラム



会長 山下 浩司

地域の大切な医療人材を応援

看護学校の皆さんやお医者さんを熱烈歓迎

今年4月は嬉しいニュースが重なりました。

まず、小林市立病院に新たに二人の先生が着任いただきました。消化器外科・腫瘍外科の吉満工平先生と泊賢一朗先生です。お二人の先生を囲んで、4月28日に「お医者さん歓迎会」を開きました。事業管理者である坪内斉志先生や病院長の徳田浩喜先生にもご臨席いただき、とても楽しい会になりました。これからも市民大応援団として先生方を盛り上げていきたいと思っています。



着任された先生方に記念品の贈呈

看護医療専門学校「も開校し、看護学科で40人の生徒さんが学んでいます。「看護学校の皆さんに地域の歓迎の気持ちをお伝えたい」という小林商工会議所の企画で歓迎レセプションを開いていただき、地域医療を考える会も運営を協力させていただきました。



てなんどメンバーによる方言クイズ

交流会では「西諸弁標準語化計画」を推進する「てなんど小林プロジェクト」のメンバーが方言クイズ&撮影会を企画。「はんとける」、「しょてかぎい」、「いっきよた」といった方言に会場は大いに盛り上がりました。終わりに「こばやし音頭」と「がつつい音頭」を会場の全員で踊りました。看護学校の皆さんは練習の成果を発揮し素晴らしい踊りを披露。「がつつい！がつつい！」と大きな掛け声が響き渡りました。



皆で踊ったこばやし音頭とがつつい音頭

缶バッジなどをプレゼント。地域の文化や特産品などを肌で感じてもらったのではないかと思います。看護学校の皆さんの笑顔が私たちにとても宝物となった一日でした。

全国シンポや県の報告会に参加

仲間との情報交換・共有を図る

2月7日から8日にかけて開かれた「地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウム2014」に山下浩司会長ほか3名で参加しました。今回は「届けようみんなの『ちえ』！ 叶えようみんなの『わ』」をテーマに、全国から医療者、住民、行政など約100名が参加。具体的な課題をもとにワークショップを行い、様々な視点から解決策を模索しました。

また、2月13日には「宮崎県オピニオンリーダー育成・強化事業報告会」に参加しました。県内で活動する地域医療住民活動団体の皆さんの報告はとても素晴らしく、皆さんの気付きと学びと元気をいただきました。これからも、様々な団体の皆さんとの交流を通して、よりよい活動に繋がっていきたいと思います。(坂口)

看護学校の皆さんの益々のご活躍とご発展を祈念するとともに、浴衣の着付けや踊りの指導など、運営にご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。(福森)



オピニオンリーダー育成・強化事業報告会



全国シンポジウムでマイクを持つ山下会長

●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●地域医療・健康都市 小林市●



かかりつけ医を持ちましょう！！

何でも相談できるかかりつけ医を持ちましょう。そのことが、あなたの健康と限りある医療を大切にすることにつながります



時間内の受診に努めましょう！！

夜間や休日の診療は急を要する人のためのものです。「平日は仕事があるから」、「昼間は忙しいから」といった自己都合の受診はやめましょう



健康づくりを心がけましょう！！

何よりも大切なのはあなた自身の健康です。日頃から生活習慣に気を配り、健康診査や検診を活用して病気の予防と早期発見に努めましょう

恒例の「クリスマスコンサート2014」が昨年12月13日に小林市立病院で開かれました。今回は南保育園つき組の子どもたち20人も出演いただき、患者さんやご家族の皆さんに癒しのプレゼントを贈りました。

